

月の舞台
日本伝統芸能講座〔岡山郷土芸能編〕
備中神楽

国指定重要無形民俗文化財

神舞

神楽のはじめにあたって神楽の霊力をもって、東南西北・中央と関係者を被い清める巫舞(神主舞)。

出演・舞手||坂川敏明 太鼓||山室茂幸

岩戸開き

天の岩屋戸にとじこもった天照大神を呼びもとそうと諸神が談義。天女の命が乱舞するのを大神がいぶかしがって岩戸を少し開けたところを、手力男の命が強力をもって引き開ける。大神をあらためて仰ぎまつることで、一件が落着く。

出演・思兼の命||妹尾賢治 天児屋根の命||藤原輝明

天太玉の命||三宅貫也 天細の命||平井啓介 手力男の命||赤木満夫

解説 「備中神楽の見どころ」講師・神崎宣武

大蛇退治

悪行をはたらき高天原(天上界)から地上に追われた素戔嗚の命が、奇稲田姫を救うために八咫の大蛇を退治する神話にもとづく。ハイライトは、素戔嗚の命と大蛇の戦いである。幕の内から大蛇が出現。酒樽の酒を飲み干して酔いつぶれてしまう。そこを素戔嗚の命が切りつける。

出演・素戔嗚の命||坂川敏明 足名槌||三宅貫也 手名槌||山室茂幸

榊稲田姫||藤原輝明 松尾明神||平井啓介 手伝人||赤木満夫

妹尾賢治 大蛇||三宅貫也、平井啓介

託宣

荒神の式年神楽にかぎって、神楽の終わりにあたって布舞や綱舞による託宣を行なう。一般の神楽で行なうのはふさわしくないことだが、今回は願主(月の舞台)代表)を定めての特別な上演とする。

出演・舞手||妹尾賢治 太鼓||藤原輝明



平井啓介



三宅貫也



藤原輝明



赤木満夫



山室茂幸



坂川敏明



妹尾賢治

神楽礼讃

民俗学者 神崎宣武

「神楽」は、広義には、カミをもてなし、カミに祈願をかける「おこない」(神事)をいう。狭義には、その芸能化したものをいう。神道の成立以前から自然発生したに相違ないが、現在では、多くが各地の神社の祭礼にもなって奉納するかたちで存続する。国の文化財指定を受けた神楽だけでも30以上を数える。

「備中神楽」もそのひとつである。岡山県西部の農山村で伝承されている。

備中神楽は、中世系の呪術や祈禱など神事(行い)的な要素の強いものと、近世以降に能の要素をとり入れて芸能化したもの(歌舞・演劇)の複合である。前者は、神舞や布舞など。後者は、大國主の命が主役の「国譲り」や素戔嗚の命が主役の「大蛇退治」など、江戸後期に再構成された神話劇に代表される。静的なおこないと動的な芸能が同じ舞台上で前後共存して伝わるのは、全国的にみて類例が少ない。また、それらが、熟練した巫人の神楽太夫によって演じられることも、備中神楽の特色のひとつ、といえよう。

月の舞台

旧家に代々受け継がれてきた能舞台の継承と再生を図るべく、2006年1月に岡山市街の旭川河畔に誕生した「月の舞台」は、伝統と現代が共存する舞台芸術の優れた精華を披露するとともに、併設された介護付有料老人ホームやデイサービス施設との連携により芸術文化と医療福祉を融合させ、未来につながるアートと地域社会の新しい出会いを醸成してまいります。

[チケット取扱]

「月の舞台」運営実行委員会事務局 Tel 086-222-6367
NPO法人アートファーム Tel 086-233-5175
岡山：ぎんざや Tel 086-222-3244
岡山シンフォニーホールチケットセンター Tel 086-234-2010

[お問い合わせ]

「月の舞台」運営実行委員会事務局
〒700-0805 岡山市兵団3-32スパイラル5F
TEL/FAX=086-222-6367
URL=http://www.spiralring.jp/tukinobutai e-mail=tukinobutai@spiralring.jp



神崎宣武 (かんだきのりたけ)

1944年岡山県生まれ。武蔵野美術大学在学中より宮本常一に師事。以後、国内外の民俗調査・研究に従事。現在、「旅の文化研究所」所長・文化庁文化審議会専門委員、東京農業大学客員教授など。主著に『盛り場の民俗史』(岩波新書)、『三三九度一日本の契約の民俗誌』(岩波書店)、『江戸の旅文化』(岩波新書)、『まつり』の食文化』(角川選書)、『酒の日本文化』(角川ソフィア文庫)などがある。

